

平成 25 年 5 月 7 日 00117 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【事務局情報】クロッカスが咲き始めました！！

花言葉は「歓喜」「信頼」「堅実」「青春の喜び」で、4月7日の誕生花です。原産は、地中海沿岸から小アジアにかけて約 80 種類が群生しており、早春に花を咲かせるものが一般的にクロッカスの名前で通っていますが、秋に花を咲かせるグループもあります。因みにスパイスとして有名なサフランは秋咲きクロッカスの仲間です。クロッカスの名前はギリシア語のクロケ(糸)に由来し、糸のような細長いめしべを持つ種があることにちなみます。



## 【事務局情報】武道館建設が着々と進んでいます！

今年のゴールデンウィークは、あいにくの寒い雪模様となり、桜の開花も遅れそうですが、北見市武道館の建設工事は遅れることなく順調に進んでいるようです。4月 29 日現在の北見市武道館建設状況ですが、屋根の梁(はり)が架かり、いよいよ武道館の全貌が感じられるようになって来ました。小雨が降る中、現場では祭日にもかかわらず、作業員の方々の熱心な建設作業が進められていました。工期は、9月13日となっています。



## 連載 中国「老子」の思想

### 「五輪書」に引き続き、連載中国『老子』の思想をお伝えします。

『老子』は千数百年の日本歴史で、読み方の現代語版翻訳や様々な解釈がされておりますが、この度ご紹介したい【老子】は、1973年4月刊行された「中国の思想第6巻—老子・列子—」徳間書店・刊行委員会、奥平卓氏翻訳の「老子・無の哲学」です。老子一章～八一章まで「老子の思想」を毎週ご紹介いたします。

### 一章 真理は固定したものではない

これこそ真の道(原理)であるといえる「道」は、絶対不変の固定した道ではない。これこそ真の名(ことば)であるといえる「名」は、絶対不変の固定した名ではない。「無」とは天地の始め、つまり物が現象する以前の状態を指すことであり、「有」とは万物の母、つまり万物が万物として現象する状態を指すことばである。「無」はつねに現象(有)として現れようとし、「有」はつねに現象以前の状態(無)に戻ろうとする。「無」と「有」とは、つまり同じものだが、われわれの知覚に上る場合を異にすることによって、違った名が与えられているのである。「無」と「有」、この両者の対立と転化の動きを含んで、止むことなく運行する根元的なもの、そのもの自体は奥深くて測り知れないから、「玄\*」としか形容することができない。その根元的な玄なるものから、森羅万象が現れるのである。

原文:「道可道、非常道。名可名、非常名。無名天地之始、有名萬物之母。故常無欲以觀其妙、常有欲以觀其徼。此兩者同出而異名。同謂之玄。玄之又玄、衆妙之門。」 二章に続く

〈玄\*〉黒い色のことだが、純粹の黒ではなく、赤みを帯びた黒である。